

平成21年度 地方の元気再生事業

様式記載例

文字サイズは必ず9ポイント以上としてください。

様式1-1, 1-2, 1-3は合計で8枚以内に収めてください。

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書

平成21年 月 日

内閣官房地域活性化統合事務局
〇〇地方連絡室長 殿
内閣府地域活性化推進担当室長 殿

〇〇地域活性化推進協議会 代表 〇〇商工会議所
会頭 ●●●● 印

地方の元気再生事業について、以下のとおり提案いたします。

【提案名】

〇〇プロジェクト 提案名は取組の内容を適切に表した簡潔なものとしてください

【問い合わせ先】

組織・役職名（代表団体名）：〇〇商工会議所

氏 名： ●●●●

住所 〒

TEL： FAX：

E-mail：

提案団体名を記載
協議会による提案の場合は、協議会名の
下に代表団体名（法人格を有するもの）及
びその団体の代表者名を記入

記入例：

〇〇地域活性化推進協議会
代表 △△△協会
理事長 □□ □□



提案名は取組の内容を適切に表した簡潔なものとしてください

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書 (様式1-1)

(1) 提案名	地域資源を活用した〇〇プロジェクト				
(2) 提案団体名	〇〇地域活性化推進協議会				
(3) 推薦団体名	〇〇市				
(4) 対象地域	〇〇県〇〇市●●地区、△△市▲▲地区				
(5) 目指すべき地方再生の全体構想	地方の元気再生事業及びその後の本格展開を通じて実現・目指している地域の全体構想を記入(目標等があればそれを記入)				
(6) 提案の背景	○地域の課題 高齢化率や人口減少の推移、雇用の状況、観光入込客数の推移等、提案の背景にある地域の抱える現状・課題等について、具体的数値等を用いて簡潔に記入。 (記入欄に記載できる範囲内で表・グラフ等の挿入も可)				
	○これまでの関連の取組 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回の提案に関連して、これまで地域で実施してきた取組がある場合、 ・内容 ・実施主体 ・経過や成果 ・明らかになった課題 などを記入</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		内 容	実施主体	今回の提案に関連して、これまで地域で実施してきた取組がある場合、 ・内容 ・実施主体 ・経過や成果 ・明らかになった課題 などを記入
内 容	実施主体				
今回の提案に関連して、これまで地域で実施してきた取組がある場合、 ・内容 ・実施主体 ・経過や成果 ・明らかになった課題 などを記入					

※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただく構いませんが、様式1-1～1-3全体の枚数は8以内にとめること。

様式1-1(1頁目)

元気再生事業を実施するエリアを記入。

記入例:

〇〇県〇〇市●●地区及び△△市▲▲地区

地方の元気再生事業及びその後の本格展開を通じて実現・目指している地域の全体構想を記入

(目標等があればそれを記入)

高齢化率や人口減少の推移、雇用の状況、観光入込客数の推移等、提案の背景にある地域の抱える現状・課題等について、具体的数値等を用いて簡潔に記入。

今回の提案に関連して、これまで地域で実施してきた取組がある場合、

- ・内容
- ・実施主体
- ・経過や成果
- ・明らかになった課題

などを記入

様式1-1(2頁目)

(7)取組の目標	○目標1→	地域産品〇〇の新商品を開発し、販路を開拓 「担い手の人数」、「事業実施前後の満足度の変化」等、元気再生事業の効果を的確に把握でき、取組による成果が適切に判断できる目標を設定
		H20(現状) H21
	地域産品〇〇取扱店舗数:〇件	地域産品〇〇取扱店舗数:〇〇件(現状の5倍) 現状と目標値を対比して記入
	○目標2→	遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保
		H20(現状) H21
	遊休農地提供登録者数:〇人	遊休農地提供登録者数:〇〇人(現状の10倍) 都市部からの新規移住者数:〇人
	○目標3→	地域リーダー新たな担い手の育成による地域人材力の強化
		H20(現状) H21
		地域リーダー3名による株式会社設立
	○地方の元気再生事業で取組む内容のねらい	地方の元気再生事業の具体的なねらいや個々の取組の連携のポイント、複合性、先導性など、全体としてのアピールポイントを記入 特に、それぞれの取組が互いにどのような連携によって相乗効果を発揮し、本格展開や目指すべき地方再生の全体構想に向かっていくのかを明記すること
(8)取組の内容	取組①	地域産品〇〇のブランド化・販路拡大 実施主体 NPO法人〇〇(〇〇大学〇〇研究所と連携) 該当する目標 地域産品〇〇の新商品を開発し、販路を開拓 内容:地域固有の産品である〇〇を活用した新加工品を開発し、販路を開拓する ・地域固有の伝統農産物である〇〇を活用した新たな加工品の開発…8月～10月 ・〇〇大学〇〇研究所との連携による新加工品の栄養価分析、鮮度維持運搬の実証…8月～2月 ・新製品の付加価値を高めるためのパッケージデザインをはじめとする広告戦略の決定…9月～12月 ・首都圏主婦層をターゲットにした消費者ニーズ調査実施(5百人を対象にアンケート等)…11月～1月 ・首都圏の高級食材スーパー等における販路開拓…12月～2月
	取組②	〇〇の安定供給体制の確保 実施主体 〇〇市(〇〇農協と連携) 該当する目標 遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保 内容:計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保 ・〇〇の生産体制の現状把握、事業計画策定(担い手の数、高齢化等の状況等を調査・分析)…8月～10月 ・都市部の移住希望者受け入れ体制(貸家屋、住民によるサポート体制、利用可能な遊休農地)の確保…8月～12月 ・移住希望者を募集する都市部での説明会開催、スカウトの実施(2回)…9月 ・都市部からの移住希望者(20名公募)を対象とした体験移住と地元農家による〇〇生産の技術指導・交流…11月～2月
	取組③	持続的な取組につなげるための地域リーダーの育成・合同会社設立準備 実施主体 〇〇商工会議所 該当する目標 地域リーダー新たな担い手の育成による地域人材力の強化 内容:〇〇生産の本格展開のため、担い手育成を行う ・地域から3名公募し、設立予定の株式会社の幹部としてそれぞれ経営、生産管理、営業の専門的なノウハウを持つリーダーを育成する。…8月～3月 ・地域活性化伝道師の〇〇氏を毎月招聘(1週間/月)、地域リーダー育成の側方支援をお願いする。…8月～3月 ・〇〇の生産及び販売等の本格事業化に向け株式会社を設立する…1月～3月

実施する取組ごとに、実施主体、目標、内容を具体的に記入
※それぞれの団体が提案のなかのどの取組を実施するか、役割分担がわかるように記入
※再委託を行うことができる範囲の根拠となります。

「担い手の人数」、「事業実施前後の満足度の変化」等、元気再生事業の効果を的確に把握でき、取組による成果が適切に判断できる目標を設定

現状と目標値を対比して記入
地方の元気再生事業の具体的なねらいや個々の取組の連携のポイント、複合性、先導性など、全体としてのアピールポイントを記入
特に、それぞれの取組が互いにどのような連携によって相乗効果を発揮し、本格展開や目指すべき地方再生の全体構想に向かっていくのかを明記すること

実施する取組ごとに、実施主体、目標、内容を具体的に記入
※それぞれの団体が提案のなかのどの取組を実施するか、役割分担がわかるように記入
※再委託を行うことができる範囲の根拠となります。

「該当する目標」の欄には、個々の取組によって直接効果が現れる目標を設定(7)で設定した目標のうち、関連の深いものを記入

※1つの目標を複数の取組に設定することも可能

※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいて構いませんが、様式1-1～1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

	調査・事業名	実施主体	補助機関	概要
(9)関連補助事業等	①			今回の提案に関連して、「地方の元気再生事業」の他に採択された、または応募中の補助事業名等を記入
(10)実施体制				<p>・関係機関との連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> -どのような主体(担当セクション、担当者まで詳細に)が取組を行うのか -各取組の中で関係団体がどのような役割を果たすのか -地域住民への活動の波及を誰がどのようにおこなうのか -大学等専門家からの助言 -関係地方公共団体との連携 -それぞれの取組間の調整、進捗管理等は誰がどのように行うのか 等 <p>・地域の盛り上がり等、地域全体の事業実施に向けた機運などについて記入</p> <p>◆NPO法人〇〇(取組①(主担当)) NPO法人の代表△△が責任者となり、〇〇大学〇〇研究所の××教授と連携。</p> <p>◆〇〇大学〇〇研究所(取組①) ××研究所のノウハウをNPOに提供し商品開発に協力。</p> <p>◆〇〇市(取組②(主担当)) 〇〇部△△課が中心となって都市部からの移住者誘致に係る取組を実施し、地域における住民説明会等を実施。 広報担当部局や〇〇担当部局等、市をあげて市民への活動の広がりを図る。</p> <p>◆〇〇農協(取組②) □□部が移住者に対する農業従事サポートを担当。 ××部は地域でのネットワークを活用し、農業関係の地域住民への理解促進、サポートの輪の広がりを担当。</p> <p>◆〇〇商工会議所(取組③) 商工会議所事務局〇〇部が責任者となり地域活性化伝道師〇〇氏との連携やリーダー育成等を担当。 株式会社設立のための支援は◎◎委員会及び△△部が担当。</p> <p>なお、取組①から③までの総合調整、進捗管理は〇〇商工会議所事務局〇〇部長●●●●と〇〇市〇〇部△△課長●●●●が取りまとめ。月に一度協議会構成員全員からなる連絡会議を開催し、当初予定していた計画通りに各取組が進捗しているか、設定した目標の達成状況等をメンバー全員で共有。</p>

※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいても構いませんが、様式1-1-1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

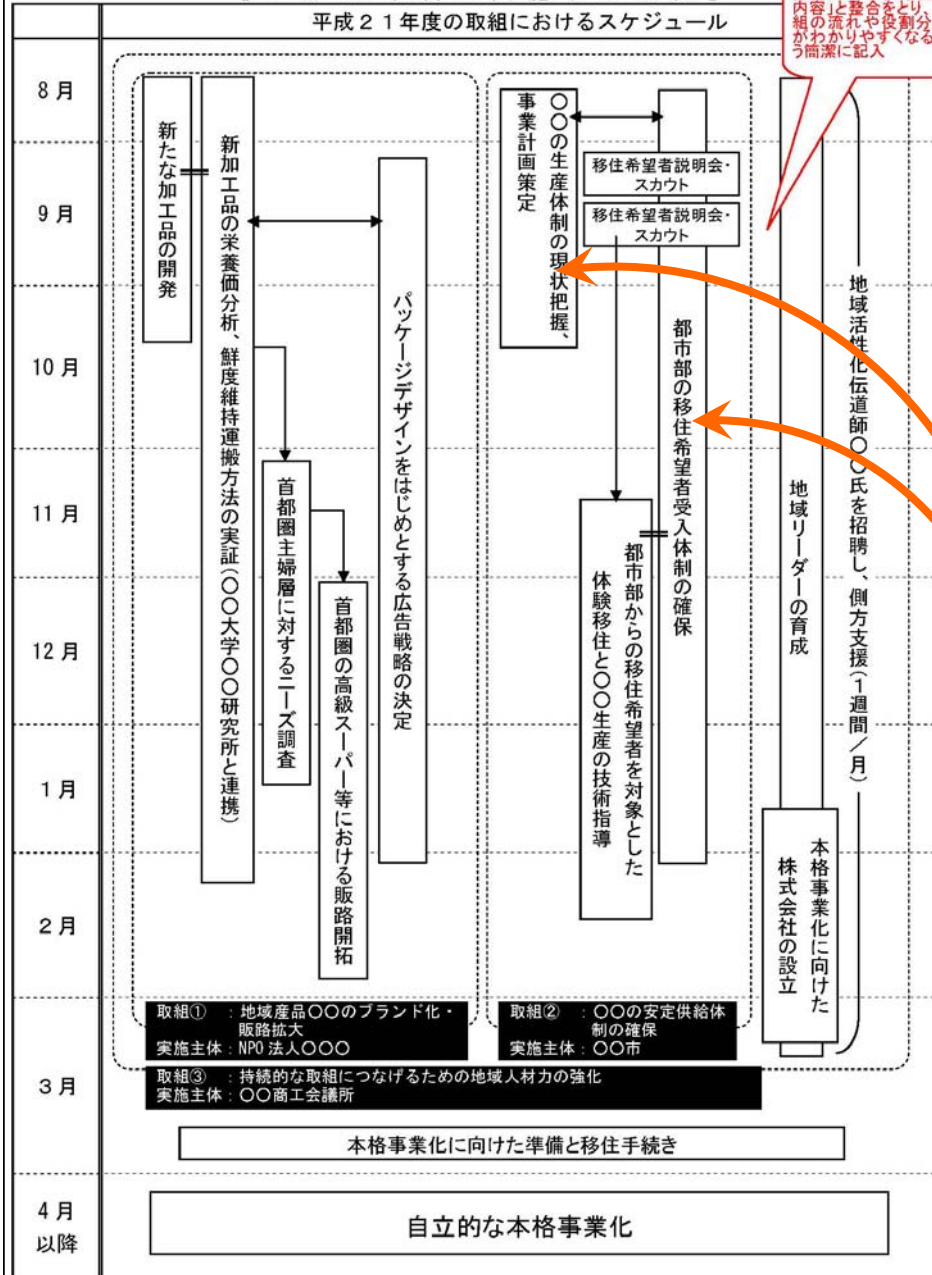
様式1-1(3頁目)

今回の提案に関連して、「地方の元気再生事業」の他に採択されたまたは応募中の補助事業名等を記入

- ・関係機関との連携体制
 - どのような主体(担当セクション、担当者まで詳細に)が取組を行うのか
 - 各取組の中で関係団体がどのような役割を果たすのか
 - 地域住民への活動の波及を誰がどのようにおこなうのか
 - 大学等専門家からの助言
 - 関係地方公共団体との連携
 - それぞれの取組間の調整、進捗管理等は誰がどのように行うのか 等
- ・地域の盛り上がり等、地域全体の事業実施に向けた機運などについて記入

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書 (様式1-2)
 【平成21年度に実施する取組】

(記載例)



様式1-2 スケジュール

平成21年7月中旬以降
 (継続提案は6月上旬以降)

平成21年度中に実施する取組

取組②	〇〇の安定供給体制の確保
実施主体	〇〇市(〇〇農協と連携)
該当する目標	遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保
内容	計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保
〇〇の生産体制の現状把握、事業計画策定(担い手の数、高齢化等の状況等を調査・分析)…8月~10月 都市部の移住希望者受け入れ体制(貸家屋、住民によるサポート体制、利用可能な遊休農地)の確保…8月~12月 移住希望者を募集する都市部での説明会開催、スカウトの実施(2回)…9月 都市部からの移住希望者(20名公募)とを対象とした体験移住と地元農家による〇〇生産の技術指導・交流…11月~2月	

様式1-1(8)「取組の内容」と整合をとり、取組の流れや役割分担がわかりやすくなるよう簡潔に記入

平成22年3月末までに事業が完了するように設定

取組の概要を1行で記載

様式1-3 必要経費の概算

平成21年度地方の元気再生事業 提案書

(実施主体)	(調査名)	〇〇プロジェクト	15,197	千円	様式1-3
計	小計	積算内訳	(備考)		
千円	千円				
〇〇地域活性化推進協議会	15,197				
NPO法人〇〇〇	5,479	①「地域産品〇〇のブランド化・販路拡大」の実施に必要な経費 概要: 地域固有の産品である〇〇を活用した新加工品を開発し、販路を開拓する			
		(1) 人件費		3,081	
		加工品開発	11,400 円 × 1 人 × 21 日 × 1.05 =	251	標準単価表(協力者謝金: 大学助手級を代用)
		事務補助(商品開発)	8,200 円 × 1 人 × 21 日 × 1.05 =	181	標準単価表(事務補助員)
		鮮度維持運搬の実証	11,400 円 × 1 人 × 35 日 × 1.05 =	419	標準単価表(協力者謝金: 大学助手級を代用)
		事務補助(鮮度維持運搬)	8,200 円 × 3 人 × 35 日 × 1.05 =	904	標準単価表(事務補助員)
		広告戦略の決定	11,400 円 × 1 人 × 18 日 × 1.05 =	215	標準単価表(協力者謝金: 大学助手級を代用)
		首都圏ニーズ調査・集計	8,200 円 × 3 人 × 18 日 × 1.05 =	465	標準単価表(事務補助員)
		首都圏における販路開拓	8,200 円 × 3 人 × 25 日 × 1.05 =	646	標準単価表(事務補助員)
		(2) 人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)		1,860	
		新加工品の栄養価分析謝金(准教授)	14,000 円 × 1 人 × 30 日 × 1.05 =	441	標準単価表(協力者謝金: 大学准教授級)
		新加工品の栄養価分析謝金(助手)	11,400 円 × 2 人 × 30 日 × 1.05 =	718	標準単価表(協力者謝金: 大学助手級)
		旅費(首都圏ニーズ調査、販路開拓)	46,700 円 × 3 人 × 5 回 =	701	〇〇市⇄東京 2泊3日
		諸経費(人件費+人件費以外の経費)×10%	4,941 千円 × 10 / 100 =	494	人件費+人件費以外の経費の10%を見込む
		(3) 業務委託費		538	
		新製品パッケージデザイン	1 式 =	538	別添見積書参照
〇〇市	4,380	②「〇〇の安定供給体制の確保」の実施に必要な経費 概要: 計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保			
		(1) 人件費		656	
		事業計画決定、移住希望者受け入れ体制の確保補助	8,200 円 × 1 人 × 60 日 =	492	標準単価表(事務補助員)
		都市部における説明会開催時事務補助	8,200 円 × 2 人 × 10 日 =	164	標準単価表(事務補助員)
		(2) 人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)		2,271	
		説明会開催会場借料	30,000 円 × 2 回 × 1.05 =	63	標準単価表
		貸家屋借上補助	15,000 円 × 4 月 × 20 人 =	1,200	別添見積書参照
		〇〇生産機材(技術指導用)リース	12,000 円 × 4 月 × 20 式 × 1.05 =	1,008	別添見積書参照
		(3) 業務委託費		1,453	
		〇〇の生産体制の現状把握	1 式 =	1,453	別添見積書参照

〇〇商工会議所	5,338	③「持続的な取組につなげるための地域人材力の強化」の実施に必要な経費 概要: 〇〇生産の本格展開のため、担い手育成を行う			
		(1) 人件費			
		地域リーダー(ノウハウ習得、株式会社設立)	1 人 × 1 年 × 1.05 =		
		(2) 人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)			
		「地域リーダー」支援地域活性化伝道師招聘	1 人 × 1 年 × 1.05 =		
		「地域リーダー」支援地域活性化伝道師交通費	3 人 × 1 年 × 1.05 =		
		(3) 業務委託費			
		(4) 調査報告書作成			
		印刷制本費(軽印刷 A4 100頁)			
		CD-R(700MB 10枚)			

取組②	〇〇の安定供給体制の確保
実施主体	〇〇市(〇〇農協と連携)
該当する目標	遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保
内容	計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保
	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇の生産体制の現状把握、事業計画策定(担い手の数、高齢化等の状況等を調査・分析)…8月~10月 都市部の移住希望者受け入れ体制(貸家屋、住民によるサポート体制、利用可能な遊休農地)の確保…8月~12月 移住希望者を募集する都市部での説明会開催、スカウトの実施(2回)…9月 都市部からの移住希望者(20名公募)とを対象とした体験移住と地元農家による〇〇生産の技術指導・交流…11月~2月

取組を実施する団体ごとに記入

様式1-1(8)「取組の内容」と整合をとり、取組の流れや役割分担がわかりやすくなるよう簡潔に記入

様式1-3 必要経費の概算 (1)人件費

取組の実施にあたって必要となる人件費について、実施内容及び単価(1日あたり人件費)が異なる人員毎に整理して記入。

(例)

- ・〇〇実証実験の企画・検討・とりまとめを行うNPOの専従職員
- ・〇〇実証実験の実施に必要な作業員
- ・△△アンケート調査の分析を行う専門技術者
(別途委託を行う場合は、(3)の欄に記入)
- ・△△アンケート調査の回収作業員 等

※単価の根拠となる資料を添付

〇〇地域活性化推進協議会 NPO法人〇〇〇	19,197	5,479	①「地域産品〇〇のブランド化・販路拡大」の実施に必要な経費 概要: 地域固有の産品である〇〇を活用した新加工品を開発し、販路を開拓する																	
			(1)人件費						3,081	千円										
			加工品開発	11,400	円	×	1	人	×	21	日	×	1.05	=	251	千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)			
			事務補助(商品開発)	8,200	円	×	1	人	×	21	日	×	1.05	=	181	千円	標準単価表(事務補助員)			
			鮮度維持運搬の実証	11,400	円	×	1	人	×	35	日	×	1.05	=	419	千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)			
			事務補助(鮮度維持運搬)	8,200	円	×	3	人	×	35	日	×	1.05	=	904	千円	標準単価表(事務補助員)			
			広告戦略の決定	11,400	円	×	1	人	×	18	日	×	1.05	=	215	千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)			
			首都圏ニーズ調査・集計	8,200	円	×	3	人	×	18	日	×	1.05	=	465	千円	標準単価表(事務補助員)			
			首都圏における販路開拓	8,200	円	×	3	人	×	25	日	×	1.05	=	646	千円	標準単価表(事務補助員)			
			(新製品以外)の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)														1,938	千円	別添付資料参照	
〇〇市		4,380	②「〇〇の安定供給体制の確保」の実施に必要な経費 概要: 計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保																	
			(1)人件費																656	千円
			事業計画決定、移住希望者受け入れ体制の確保補助	8,200	円	×	1	人	×	60	日			=	492	千円	標準単価表(事務補助員)			
			都市部における説明会開催時事務補助	8,200	円	×	2	人	×	10	日			=	164	千円	標準単価表(事務補助員)			
			(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)																2,271	千円
			説明会開催会場借料	30,000	円	×	2	回						×	1.05	=	63	千円	標準単価表	

地方公共団体が新たに非常勤職員等を雇う場合は、消費税は経費の対象外です

何人の人員が何日間専従するのか作業ごとに記入
※実施期間に注意。

※実際の契約段階において支弁される単価・経費等が応募時と変更される場合があります。

様式1-3 必要経費の概算 (2)人件費以外の経費 (3)業務委託費、(4)調査報告書作成

		(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)						1,860 千円				
		新加工品の栄養価分析謝金(准教授)	14,000 円	×	1 人	×	30 日	×	1.05	=	441 千円	標準単価表(協力者謝金:大学准教授級)
		新加工品の栄養価分析謝金(助手)	11,400 円	×	2 人	×	30 日	×	1.05	=	718 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級)
		旅費(首都圏ニーズ調査、販路開拓)	46,700 円	×	3 人	×	5 回			=	701 千円	〇〇市⇄東京 2泊3日
		諸経費(人件費+人件費以外の経費)×10%	4,941 千円	×	10	/	100			=	494 千円	人件費+人件費以外の経費の10%を見込む
		(3)業務委託費						538 千円				
		新製品パッケージデザイン								=	538 千円	別添見積書参照
〇〇市	4,999	〇〇の生産体制の現状把握								=	1,455 千円	別添見積書参照
〇〇商工会議所	5,338	③「持続的な取組につなげるための地域人材力の強化」の実施に必要な経費										
		概要: 〇〇生産の本格展開のため、担い手育成を行う										
		(1)人件費										
		地域リーダー(ノウハウ習得、株式会社設立)	11,400 円	×	8 人	×	120 日	×	1.05	=	4,309 千円	標準単価表(事務補助員)
		(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)										
		「地域リーダー」支援地域活性化伝道師招聘	18,300 円	×	1 人	×	40 日	×	1.05	=	769 千円	標準単価表(委員手当:委員)
		「地域リーダー」支援地域活性化伝道師交通費	31,598 円	×	1 人	×	8 往復			=	253 千円	〇〇市⇄〇〇市往復(1ヶ月1往復)
		(3)業務委託費										
		(4)調査報告書作成										
		印刷制本費(軽印刷 A4 100頁)	697 円	×	10 部			×	1.05	=	7 千円	標準単価表
		CD-R(700MB 10枚)	810 円	×	1 式			×	1.05	=	1 千円	標準単価表

取組実施のために人件費以外で必要となる経費のうち、主要な経費の概算について記入(例)

- ・実証実験実施の際に必要な機器等のリース代等
 - ・アンケート調査に必要な印刷・郵送代等
 - ・専門家招聘等のための旅費・謝金等
 - ・ワークショップ開催のための会議室借料等
- 通信費・事務費等のその他の間接経費等については、一式計上で構いませんが、考え方(例:人件費の△%等)を備考欄に記入

※標準単価を使用しないものは、カタログや見積書などの資料を添付

取組の一部を外部に委託する場合は、委託する内容を明らかにして見積書・内訳書を添付(人件費・諸経費の内訳)

※再委託を行う場合には委託先の省庁からの再委託承認があらためて必要となります。

平成21年度末に実施取組に関する報告書を提出していただきますので、代表団体の経費に計上

※実際の契約段階において支弁される単価・経費等が応募時と変更される場合があります。

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書 (様式2)

【平成22年度以降の展開】

平成21年度の取組の成果を受けて、平成22年度以降に予定・構想している本格的な展開(ハード事業など)と、それにより目指す将来像を記入

特に、本格展開時にどのような運営体制を構築して継続していくのかを明確にすること(〇〇法人の設立等)

「地方の元気再生事業」の継続実施を希望する場合は、元気再生事業で予定している取組を併せて記入

(11)取組の内容

(12)平成22年度以降の展開スケジュール

平成22年
〇月
～
〇月

平成 年
～
平成 年

記入例

平成22年度の取り組み内容(予定)

〇 本格導入に向けた具体的検討項目

平成21年度及びそれ以降の長期的な取組内容について簡潔に記入

〇 本格導入に向けた関係機関調整

〇 本格的な事業展開

- ・実施地域 :
- ・実施期間 :
- ・実施内容 :
- ・.....

様式2 平成22年度以降の展開

平成21年度 of 取組の成果を受けて、平成22年度以降に予定・構想している本格的な展開(ハード事業など)と、それにより目指す将来像を記入
特に、本格展開時にどのような運営体制を構築して継続していくのかを明確にすること(〇〇法人の設立等)

「地方の元気再生事業」の継続実施を希望する場合は、元気再生事業で予定している取組を併せて記入

平成22年度

平成22年度及びそれ以降の長期的な取組内容について簡潔に記入

平成23年度以降

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書（様式3）

【 提案者の概要 】

項目		記入欄
提案名		
対象地域	(都道府県名)	
	(市区町村・地区名)	
提案団体名 (代表団体名)		(提案団体が協議会の場合に、契約の相手方となる代表団体名を記入してください。)
担当者名		
所属		
連絡先(電話番号)		
(FAX)		
(E-Mail)		
構成団体名①		(以下、適宜行を追加してください。)
構成団体名②		
構成団体名③		
構成団体名④		
推薦団体名		
担当者名		
連絡先(電話番号)		
(FAX)		
(E-Mail)		

様式3 提案者の概要

提案者及び代表団体について
必要事項を記入

連携して取組を実施する団体を
すべて記入
※再委託を行うことができる範囲
の根拠となります。

市町村等からの推薦を受ける
場合、推薦団体の連絡先を記入

様式4 提案概要図(ポンチ絵)

〇〇プロジェクト(〇〇県〇〇地域) —NPO法人〇〇、〇〇市、〇〇協会…—

平成21年度 地方の元気再生事業
提案書(様式4)

※本様式は必ず1枚に収め、文字は10ポイント以上とすること。

地域の現状と課題(提案の背景)

・雇用、高齢

文字サイズは必ず10ポイント以上としてください。

目指すべき地方再生の全体

◆地方の元気再生事業◆

◆実施スケジュール◆

○取組のねらい・実施主体間の連携等

〇取組のねらい・実施主体間の連携等

○主な取組

取組①「……」〇〇NPO

①取組内容
②見込まれる効果等

図・写真等
参考となる図・写真等

取組②「……」〇〇会

①取組内容
②見込まれる効果等

図・写真等
参考となる図・写真等

H21年〇月 ○〇協議会設置

H21年〇月 実施取組① …

H21年〇月 ~
H21年〇月

実施取組②
〇〇に関する実証実験
実施取組③
〇〇に関する調査
…

H22年〇月 実施取組④ …

H22年〇月 ~
H22年〇月

本格展開に向けた調整

H23~H2・年

・ハード整備その他の
本格展開
①…
②…

◆H22年度以降の展開◆

・〇〇NPOと〇〇協会の連携による〇〇の事業化(H22~)

…
…

◆地方再生の目標像◆

取組のねらいや実施する団体の間での連携のポイントをわかりやすく記入してください

様式1~2の内容を簡潔に1枚にまとめて記載

様式5 推薦書

番 号
平成21年 月 日

平成21年度 地方の元気再生事業 推薦書（様式5）

内閣官房地域活性化統合事務局
〇〇地方連絡室長 殿
内閣府地域活性化推進担当室長 殿

地方公共団体名 推薦者氏名 公印



推薦者名は必ずしも市長や知事である必要はありませんが、公印を押印してもらいようにしてください

「平成21年度地方の元気再生事業」募集の趣旨及び募集要領の内容を踏まえ、以下の提案を推薦いたします。

提案名	
提案団体名	

表紙（提案書 様式 1 - 1）

平成 2 1 年度 地方の元気再生事業 提案書

平成 2 1 年 月 日

内閣官房地域活性化統合事務局

〇〇地方連絡室長 殿

内閣府地域活性化推進担当室長 殿

〇〇地域活性化推進協議会 代表 〇〇商工会議所
会頭 ●● ●● 印

地方の元気再生事業について、以下のとおり提案いたします。

【提案名】

〇〇プロジェクト 提案名は取組の内容を適切に表した簡潔なものとしてください

【問い合わせ先】

組織・役職名（代表団体名）：〇〇商工会議所

氏 名： ●● ●●

住所 〒

TEL： FAX：

E-mail：

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書 (様式1-1)

(1) 提案名	地域資源を活用した〇〇プロジェクト	
(2) 提案団体名	〇〇地域活性化推進協議会	
(3) 推薦団体名	〇〇市	
(4) 対象地域	〇〇県〇〇市●●地区、△△市▲▲地区	
(5) 目指すべき地方再生の全体構想	地方の元気再生事業及びその後の本格展開を通じて実現・目指している地域の全体構想を記入(目標等があればそれを記入)	
(6) 提案の背景	〇地域の課題	
	高齢化率や人口減少の推移、雇用の状況、観光入込客数の推移等、提案の背景にある地域の抱える現状・課題等について、具体的数値等を用いて簡潔に記入。 (記入欄に記載できる範囲内で表・グラフ等の挿入も可)	
	〇これまでの関連の取組	
	内 容	実施主体
	今回の提案に関連して、これまで地域で実施してきた取組がある場合、 ・内容 ・実施主体 ・経過や成果 ・明らかになった課題 などを記入	

※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいて構いませんが、様式1-1~1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

(7)取組の目標	○目標1→	地域産品〇〇の新商品を開発し、販路を開拓 「担い手の人数」、「事業実施前後の満足度の変化」等、元気再生事業の効果的的確に把握でき、取組による成果が適切に判断できる目標を設定
		H20(現状) H21
	地域産品〇〇取扱店舗数:〇件	地域産品〇〇取扱店舗数:〇〇件(現状の5倍) 現状と目標値を対比して記入
	○目標2→	遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保
		H20(現状) H21
	遊休農地提供登録者数:〇人	遊休農地提供登録者数:〇〇人(現状の10倍) 都市部からの新規移住者数:〇人
	○目標3→	地域リーダー新たな担い手の育成による地域人材力の強化
		H20(現状) H21
		地域リーダー3名による株式会社設立
	(8)取組の内容	○地方の元気再生事業で取組む内容のねらい
地方の元気再生事業の具体的なねらいや個々の取組の連携のポイント、複合性、先導性など、全体としてのアピールポイントを記入		
特に、それぞれの取組が互いにどのような連携によって相乗効果を発揮し、本格展開や目指すべき地方再生の全体構想に向かっていくのかを明記すること		
取組①		地域産品〇〇のブランド化・販路拡大
実施主体		NPO 法人〇〇〇(〇〇大学〇〇研究所と連携)
該当する目標		地域産品〇〇の新商品を開発し、販路を開拓
内容:		地域固有の産品である〇〇を活用した新加工品を開発し、販路を開拓する
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の伝統農産物である〇〇を活用した新たな加工品の開発…8月～10月 ・〇〇大学〇〇研究所との連携による新加工品の栄養価分析、鮮度維持運搬の実証…8月～2月 ・新製品の付加価値を高めるためのパッケージデザインをはじめとする広告戦略の決定…9月～12月 ・首都圏主婦層をターゲットにした消費者ニーズ調査実施(5百人を対象にアンケート等)…11月～1月 ・首都圏の高級食材スーパー等における販路開拓…12月～2月
取組②		〇〇の安定供給体制の確保
実施主体		〇〇市(〇〇農協と連携)
該当する目標	遊休農地所有者の合意形成、安定供給体制の確保	
内容:	計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保	
	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の生産体制の現状把握、事業計画策定(担い手の数、高齢化等の状況等を調査・分析)…8月～10月 ・都市部の移住希望者受け入れ体制(貸家屋、住民によるサポート体制、利用可能な遊休農地)の確保…8月～12月 ・移住希望者を募集する都市部での説明会開催、スカウトの実施(2回)…9月 ・都市部からの移住希望者(20名公募)とを対象とした体験移住と地元農家による〇〇生産の技術指導・交流…11月～2月 	
取組③	持続的な取組につなげるための地域リーダーの育成・合同会社設立準備	
実施主体	〇〇商工会議所	
該当する目標	地域リーダー新たな担い手の育成による地域人材力の強化	
内容:	〇〇生産の本格展開のため、担い手育成を行う	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から3名公募し、設立予定の株式会社の幹部としてそれぞれ経営、生産管理、営業の専門的なノウハウを持つリーダーを育成する。…8月～3月 ・地域活性化伝道師の〇〇氏を毎月招聘(1週間/月)、地域リーダー育成の側方支援をお願いする。…8月～3月 ・〇〇の生産及び販売等の本格事業化に向け株式会社を設立する…1月～3月 	

実施する取組ごとに、実施主体、目標、内容を具体的に記入
※それぞれの団体が提案のなかのどの取組を実施するか、役割分担がわかるように記入
※再委託を行うことができる範囲の根拠となります。

※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいて構いませんが、様式1-1～1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

	調査・事業名	実施主体	補助機関	概要
(9)関連補助事業等	①			今回の提案に関連して、「地方の元気再生事業」の他に採択された、または応募中の補助事業名等を記入
	②			
(10) 実施体制	<p>・関係機関との連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> -どのような主体(担当セクション、担当者まで詳細に)が取組を行うのか -各取組の中で関係団体がどのような役割を果たすのか -地域住民への活動の波及を誰がどのようにおこなうのか -大学等専門家からの助言 -関係地方公共団体との連携 -それぞれの取組間の調整、進捗管理等は誰がどのように行うのか 等 <p>・地域の盛り上がり等、地域全体の事業実施に向けた機運などについて記入</p> <p>◆NPO法人〇〇(取組①(主担当)) NPO法人の代表△△が責任者となり、〇〇大学〇〇研究所の××教授と連携。</p> <p>◆〇〇大学〇〇研究所(取組①) ××研究所のノウハウをNPOに提供し商品開発に協力。</p> <p>◆〇〇市(取組②(主担当)) 〇〇部△△課が中心となって都市部からの移住者誘致に係る取組を実施し、地域における住民説明会等を実施。 広報担当部局や〇〇担当部局等、市をあげて市民への活動の広がりを図る。</p> <p>◆〇〇農協(取組②) □□部が移住者に対する農業従事サポートを担当。 ××部は地域でのネットワークを活用し、農業関係の地域住民への理解促進、サポートの輪の広がりを担当。</p> <p>◆〇〇商工会議所(取組③) 商工会議所事務局〇〇部が責任者となり地域活性化伝道師〇〇氏との連携やリーダー育成等を担当。 株式会社設立のための支援は◎◎委員会及び△△部が担当。</p> <p>なお、取組①から③までの総合調整、進捗管理は〇〇商工会議所事務局〇〇部長●●●●と〇〇市〇〇部△△課長●●●●が取りまとめ。月に一度協議会構成員全員からなる連絡会議を開催し、当初予定していた計画通りに各取組が進捗しているか、設定した目標の達成状況等をメンバー全員で共有。</p>			

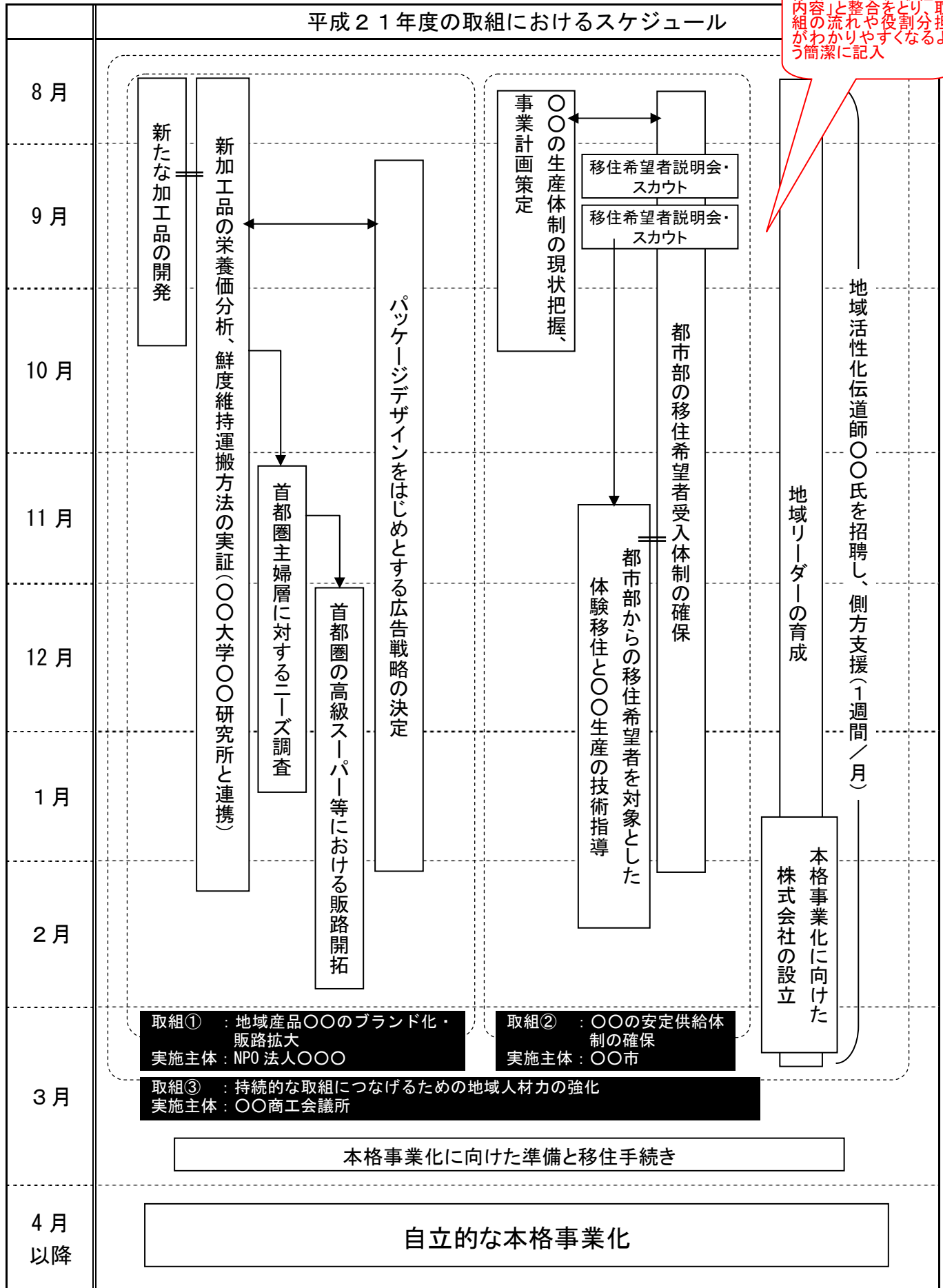
※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいて構いませんが、様式1-1~1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書 (様式1-2)

【平成21年度に実施する取組】

平成21年度の取組におけるスケジュール

様式1-1(8)「取組の内容」と「取組の役割」を統合し、内容の流れや役割がわかりやすくなるよう簡潔に記入



※必要に応じて適宜、行や欄を追加していただいて構いませんが、様式1-1~1-3全体の枚数は8枚以内に収めること。

(実施主体)	(調査名) ○○プロジェクト		積 算 内 訳										15,197 千円	【様式1-3】
	計	小計												(備考)
	千円	千円												
○○地域活性化推進協議会	15,197													
NPO法人○○○		5,479	①「地域産品○○のブランド化・販路拡大」の実施に必要な経費											
			概要: 地域固有の産品である○○を活用した新加工品を開発し、販路を開拓する											
			(1)人件費										3,081 千円	
			加工品開発	11,400 円	×	1 人	×	21 日	×	1.05	=	251 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)	
			事務補助(商品開発)	8,200 円	×	1 人	×	21 日	×	1.05	=	181 千円	標準単価表(事務補助員)	
			鮮度維持運搬の実証	11,400 円	×	1 人	×	35 日	×	1.05	=	419 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)	
			事務補助(鮮度維持運搬)	8,200 円	×	3 人	×	35 日	×	1.05	=	904 千円	標準単価表(事務補助員)	
			広告戦略の決定	11,400 円	×	1 人	×	18 日	×	1.05	=	215 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級を代用)	
			首都圏ニーズ調査・集計	8,200 円	×	3 人	×	18 日	×	1.05	=	465 千円	標準単価表(事務補助員)	
			首都圏における販路開拓	8,200 円	×	3 人	×	25 日	×	1.05	=	646 千円	標準単価表(事務補助員)	
			(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)										1,860 千円	
			新加工品の栄養価分析謝金(准教授)	14,000 円	×	1 人	×	30 日	×	1.05	=	441 千円	標準単価表(協力者謝金:大学准教授級)	
			新加工品の栄養価分析謝金(助手)	11,400 円	×	2 人	×	30 日	×	1.05	=	718 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級)	
			旅費(首都圏ニーズ調査、販路開拓)	46,700 円	×	3 人	×	5 回			=	701 千円	〇〇市⇄東京 2泊3日	
			諸経費(人件費+人件費以外の経費)×10%	4,941 千円	×	10	/	100			=	494 千円	人件費+人件費以外の経費の10%を見込む	
			(3)業務委託費										538 千円	
			新製品パッケージデザイン								1式	=	538 千円	別添見積書参照
〇〇市		4,380	②「〇〇の安定供給体制の確保」の実施に必要な経費											
			概要: 計画的に都市部の移住者を誘致し、併せて農地・家屋等サポート体制を確保											
			(1)人件費										656 千円	
			事業計画決定、移住希望者受け入れ体制の確保補助	8,200 円	×	1 人	×	60 日			=	492 千円	標準単価表(事務補助員)	
			都市部における説明会開催時事務補助	8,200 円	×	2 人	×	10 日			=	164 千円	標準単価表(事務補助員)	
			(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)										2,271 千円	
			説明会開催会場借料	30,000 円	×	2 回			×	1.05	=	63 千円	標準単価表	
			貸家屋借上補助	15,000 円	×	4 月	×	20 人			=	1,200 千円	別添見積書参照	
			〇〇生産機材(技術指導用)リース	12,000 円	×	4 月	×	20 式	×	1.05	=	1,008 千円	別添見積書参照	
			(3)業務委託費										1,453 千円	
			〇〇の生産体制の現状把握								1式	=	1,453 千円	別添見積書参照
〇〇商工会議所		5,338	③「持続的な取組につなげるための地域人材力の強化」の実施に必要な経費											
			概要: 〇〇生産の本格展開のため、担い手育成を行う											
			(1)人件費										4,309 千円	
			地域リーダー(ノウハウ習得、株式会社設立)	11,400 円	×	3 人	×	120 日	×	1.05	=	4,309 千円	標準単価表(協力者謝金:大学助手級)	
			(2)人件費以外の経費(取組の実施にあたって必要な主だった経費)										1,021 千円	
			「地域リーダー」支援地域活性化伝道師招聘	18,300 円	×	1 人	×	40 日	×	1.05	=	769 千円	標準単価表(委員手当:委員)	
			「地域リーダー」支援地域活性化伝道師交通費	31,598 円	×	1 人	×	8 往復			=	253 千円	〇〇市⇄〇〇市往復(1ヶ月1往復)	
			(3)業務委託費										0 千円	
			-										0 千円	
			(4)調査報告書作成										8 千円	
			印刷製本費(軽印刷 A4 100頁)	697 円	×	10 部			×	1.05	=	7 千円	標準単価表	
			CD-R(700MB 10枚)	810 円	×	1 式			×	1.05	=	1 千円	標準単価表	

平成21年度 地方の元気再生事業 提案書（様式2）

【平成22年度以降の展開】

<p>(11)取組の内容</p>	<p>平成21年度の実績を受けて、平成22年度以降に予定・構想している本格的な展開（ハード事業など）と、それにより目指す将来像を記入 <u>特に、本格展開時にどのような運営体制を構築して継続していくのかを明確にすること（○法人の設立等）</u></p> <p>「地方の元気再生事業」の継続実施を希望する場合は、元気再生事業で予定している取組を併せて記入</p>				
<p>(12)平成22年度以降の展開スケジュール</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="193 987 370 1480"> <p>平成22年 ○月 ～ ○月</p> </td> <td data-bbox="370 987 1476 1480"> <p>記入例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">平成22年度の取り組み内容（予定）</p> <p>○ 本格導入に向けた具体的検討項目</p> </div> <p style="text-align: center; color: red;">平成21年度及びそれ以降の長期的な取組内容について簡潔に記入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格導入に向けた関係機関調整</p> </div> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="193 1480 370 2042"> <p>平成 年 ～ 平成 年</p> </td> <td data-bbox="370 1480 1476 2042"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格的な事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施地域 : ・ 実施期間 : ・ 実施内容 : ・ </div> </td> </tr> </table>	<p>平成22年 ○月 ～ ○月</p>	<p>記入例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">平成22年度の取り組み内容（予定）</p> <p>○ 本格導入に向けた具体的検討項目</p> </div> <p style="text-align: center; color: red;">平成21年度及びそれ以降の長期的な取組内容について簡潔に記入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格導入に向けた関係機関調整</p> </div>	<p>平成 年 ～ 平成 年</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格的な事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施地域 : ・ 実施期間 : ・ 実施内容 : ・ </div>
<p>平成22年 ○月 ～ ○月</p>	<p>記入例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">平成22年度の取り組み内容（予定）</p> <p>○ 本格導入に向けた具体的検討項目</p> </div> <p style="text-align: center; color: red;">平成21年度及びそれ以降の長期的な取組内容について簡潔に記入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格導入に向けた関係機関調整</p> </div>				
<p>平成 年 ～ 平成 年</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 本格的な事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施地域 : ・ 実施期間 : ・ 実施内容 : ・ </div>				